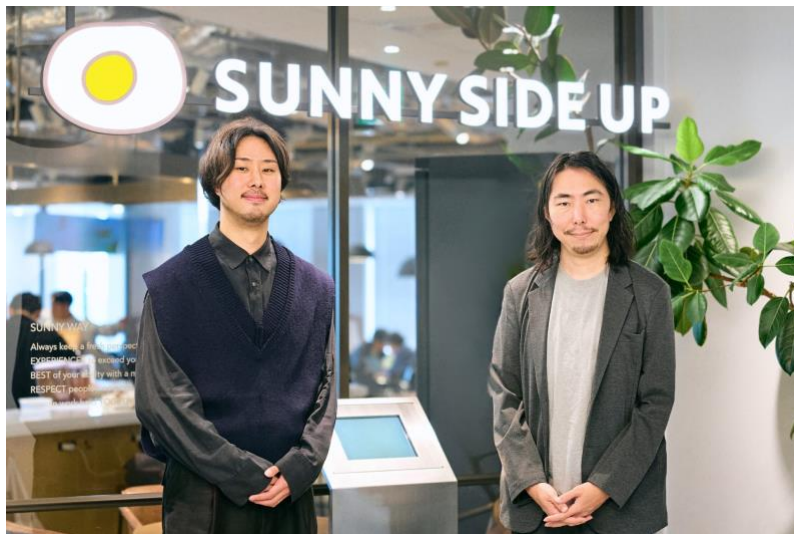


AI 時代の“企業と社会の関係性”をデザインする新チーム

「AI Dialogue & Relations Team」を発足

生成 AI 活用の第一人者 深津貴之氏が AI・リレーションズ・アドバイザーに就任



株式会社サニーサイドアップグループのコア事業を担う株式会社サニーサイドアップ（本社：東京都渋谷区代表取締役社長：リュウ シーチャウ）は、「深津式プロンプト」として知られる生成 AI との対話技術の考案者であり、生成 AI 活用の第一人者として AI 時代のコミュニケーション設計をリードする深津貴之（ふかつ たかゆき）氏を AI・リレーションズ・アドバイザーに選任したことをお知らせいたします。

同時に、AI 時代における「ステークホルダーとの信頼性の確立」、「エンゲージメントの深化」、さらには「情報拡散の最大化」の実現に向け、深津氏とともに、専門チーム「AI Dialogue & Relations Team（AI ダイアログ&リレーションズ チーム）」を発足いたします。生活者、そして情報流通に影響を与えるインフルエンサーやメディアといった「人（オーディエンス）」と、意思決定に影響を与える存在となりつつある「AI」の双方に信頼される一次情報の供給者となり、信頼性を軸としたブランドコミュニケーションの新たな基準を確立してまいります。

■AI・リレーションズ・アドバイザーの就任および専門チーム「AI Dialogue & Relations Team」発足の背景

AI 技術の進展に伴い、企業広報や PR 活動における「一次情報の信頼性」と「AI 時代に対応した倫理（ガバナンス）」の確立が喫緊の課題と捉えています。当社は AI を積極的に活用し、創業から 40 年にわたり培ってきた知見や実績、リレーションの体系化に留まらず、AI を単なる効率化のツールではなく、人と同様に企業やブランドの評価を左右する存在として位置づけています。すなわち、AI を PR の対象となる「ステークホルダーの一部」と定義し、AI 時代における関係性の質を追求することが、企業・ブランドの競争力に直結すると捉えています。特に、AI が企業に対してネガティブなレコメンドを出す事態、いわば「AI に嫌われる／知られない」といったリスクを避けるためにも、AI が倫理的・技術的に信頼する情報源となることが不可欠です。

本チームは、AI の利活用をリードする深津氏の知見を最大限に活かし、ユニット名が示す通り、AI の思想・構造を深く洞察する「対話（Dialogue）」と、その成果を社会に実装する「関係性の構築（Relations）」を活動の主軸とします。AI が代替不可能な「問いを立てる力」や「ノイズを生み出す創造性」、そして「共感に基づく強固なリレーション構築力」といった人ならではの価値こそが、企業が AI から信頼されるための唯一無二の資産であるという考えのもと、コミュニケーション領域の新たな基盤を確立するため、本チームを発足いたしました。本チームを推進する中核メンバーには、当社の AI 活用戦略を主導し、戦略的ブランドコミュニケーションの最前線で多くの実績を持つ執行役員 岩崎真之介（いわさき しんのすけ）を選任。深津氏の先駆的な哲学と、当社の創業 40 年を超えるブランドコミュニケーション総合力を掛け合わせることで、AI 時代における課題を解決する強力なソリューション体制が誕生しました。今後の活動にぜひご期待ください。

株式会社サニーサイドアップ「AI Dialogue & Relations Team」へのお問い合わせはこちらから：<https://www.ssu.co.jp/contact>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社サニーサイドアップグループ ブランドコミュニケーション部 広報グループ

担当：河村（080-4320-4158）、古本 Email：koho@ssu.co.jp

■深津貴之氏 コメント

AI が広く普及した時代には、逆説的に『人ならではの創造性や共感』といった、AI 以外の部分が大きな価値を持ちます。なぜなら AI は誰もが使うインフラとなり、『AI の上で何を語り、どう心を動かすか』が問われるからです。サニーサイドアップのような、人の心を動かすストーリーテリングや、世の中を巻き込むアイデアの力を深く理解している会社が、AI を理解し、使いこなした時、一体何が起きるのか。そのチャレンジを一緒にできることを、心から楽しみにしております。

■株式会社サニーサイドアップ 執行役員／AI Dialogue & Relations Team 岩崎真之介 コメント

私生活の中に AI が当たり前に溶け込む「AI ネイティブ時代」は、確実に訪れます。私たちは、過渡期である今こそ、PR の価値を再定義する絶好の機会と捉えています。私たちが発信する情報が、AI からの信頼に繋がる一次情報になることを意識し、人と AI の双方に価値をもたらすコミュニケーションを創造していきます。深津氏という新たなプロフェッショナルをお迎えし、新設する「AI Dialogue & Relations Team」を通じて、人と AI の双方に価値をもたらす、新たな“たのしいさわざ”をこれからも社会に届けてまいります。

■深津貴之氏 プロフィール

サービスデザイナー。ユーザーの行動設計や体験設計を主軸に、新規事業の企画やグロース、新技術の導入などの伴走を行う。2013 年 クリエイティブファーム THE GUILD を設立。現在は note 株式会社や弁護士ドットコム株式会社の CXO を務めるほか、横須賀市の AI 戦略アドバイザーなど、領域を超えた事業アドバイザリーを行う。近年では AI 活用の第一人者として、テレビ東京の AI 専門チャンネル『テレ東アカデミー』への出演のほか、自身のポッドキャスト『深津貴之の GUILD TALK』での発信を行う。代表著書に『ChatGPT を使い尽くす！ 深津式プロンプト読本』。

▼TBS CROSS DIG with Bloomberg

▼深津貴之の GUILD TALK

▼テレ東アカデミー

【AI でアカデミー賞は獲れる？】西野亮廣×深津貴之 SP 対談【テレ東 AI アカデミー始動】

AI の正しい使い方/AI と相性がいい人/ビジネスシーンでの AI 活用法【脳科学者・茂木健一郎×プロンプトの王・深津貴之】

■株式会社サニーサイドアップ 概要 (SUNNY SIDE UP Inc.)

サニーサイドアップグループのコア事業である PR 発想を軸としたブランドコミュニケーション事業を展開。PR をはじめ、プロモーション、ブランディング、スポーツマーケティング、デジタルマーケティング、インフルエンサーマーケティングなど、コミュニケーション全般における多様なソリューションを提供するブランドコミュニケーションエージェンシーです。

社名 : 株式会社サニーサイドアップ / SUNNY SIDE UP Inc.

代表取締役社長 : リュウ シーチャウ

公式サイト : <https://ssu.co.jp>

■株式会社サニーサイドアップグループ 概要 (SUNNY SIDE UP GROUP Inc.)

1985 年の創業以来、「たのしいさわざをおこしたい」をスローガンに、さまざまな企業や団体の PR を手がけ、2008 年に株式上場（現在は東証スタンダード市場上場）。2020 年にホールディングス経営体制に移行し、PR 発想を軸とした広範なコミュニケーションソリューションを提供しています。2024 年 6 月には国際認証制度「B Corp」認証を取得。コミュニケーションの力を駆使し、ソーシャルムーブメントの創出や社会課題の解決にも取り組む、新しい時代の新しい価値観を創造する PR・コミュニケーショングループです。

社名 : 株式会社サニーサイドアップグループ / SUNNY SIDE UP GROUP Inc.

代表取締役社長 : 次原 悦子

設立日 : 1985 年 7 月 1 日

本社所在地 : 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5

公式サイト : <https://ssug.co.jp>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社サニーサイドアップグループ ブランドコミュニケーション部 広報グループ

担当 : 河村 (080-4320-4158)、古本 Email : koho@ssu.co.jp